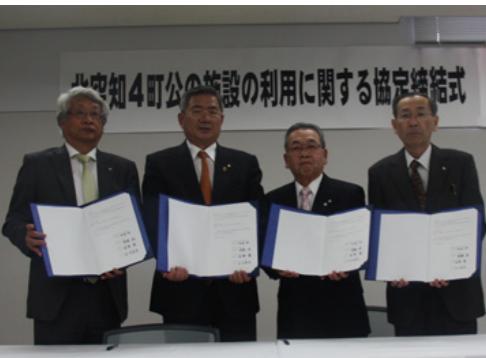


公共施設を相互利用

沼田、妹背牛、秩父別、北竜が協定を締結

3/25



3月25日（水）、北空知4町公の施設の利用に関する協定調印式が、ゆめっくるで行われました。

沼田、妹背牛、秩父別、北竜の4町の図書館や体育館、パークゴルフ場などの社会教育施設の相互利用や交流促進を目的とした協定が、締結されました。会場のゆめっくるでは、4町の町長が顔を揃えて、協定書にサインをしました。

今後、料金体系のあり方や対象施設の拡大、相互利用促進の具体的な手続きなどの協議を行います。

晴天の中今年度最後の走り

明日萌の里・ほたるの里歩くスキーの集い

3/30



3月30日（日）明日萌の里・ほたるの里歩くスキーの集いが、ほろしん温泉周辺特設会場で行われました。

今年で22回目を迎え、札幌や岩見沢、遠くは東京の道内外から265名が参加しました。

参加者は、2キロ、7キロ、13キロの3コースに分かれ、晴天の好コンディションの中、日ごろ鍛えた健脚を生かして、ゴールを目指しました。

ゴール後は、昼食と温泉を楽しみ、会場を後にしました。

早い雪解けを願って
渡部建設（株）がグラウンドの雪割り

4/1



4月1日（火）、沼田町内で特定建設業を営む渡部建設（株）（渡部稔代表取締役）が、沼田中学校グラウンド、沼田小学校グラウンド、農村公園野球場の雪割りボランティアを行いました。

子どもたちに元気に外で運動をしてもらいたいと、昨年に続き実施された雪割りボランティア。昨年よりも降雪量が少ない年でしたが、まだまだ雪が多く残るグラウンドを作業員がトラクターに乗り込み、雪割り作業を実施しました。

沼田町の美味しい特産品

北のほたるファクトリー完成見学会

4/2



老朽化の解消とトマト加工品増産のため建て替えを進めていた、沼田町農産加工場（愛称：北のほたるファクトリー）が完成し、7日から本格的に稼働が始まります。

4月2日（水）に町民見学会が開催され、嶋田工場長が新しい機械の処理能力や作業手順などを詳しく説明し、参加した町民は説明にうなずきながら約1時間かけて工場内を見学していました。

当日は2回行われた見学会に延べ110名が参加し、説明後には特別価格でのトマトジュースの販売も行われました。

ふるさと大使の細坪基佳さんと一緒に歌おう

開拓120年記念事業「コーラス隊」が結成

3/11

沼田町開拓120年記念事業の一環で行われる「細坪基佳ふるさとコンサート」において大合唱が企画されており、3月11日（火）に、「コーラス隊」の結団式が、ゆめっくるで行われました。

「細坪基佳ふるさとコンサート」は、6月21日（土）に町民会館で開催され、「コーラス隊」は、そのコンサートの中で、ふるさと大使の細坪基佳さんと町民120名による大合唱を行う予定です。当日は、約25名が集合し、コンサート実行委員長の栗中完さんからの挨拶終了後、本番で歌う2曲が発表され、「夢で逢えるまで」と「歳時記」の練習に入りました。

練習では、発声練習からはじまり、最後の方では、本番のような美しい歌声が響き渡りました。

「コーラス隊」に入隊を希望される方は、役場農業商工観の「細坪基佳コンサート実行委員会」【電話35-2114】までお問い合わせください。特に、男性の参加をお待ちしています。



それぞれの思いを胸に…

幼稚園・小学校・中学校で卒業式

3/13・18・20



3月13日（木）、に第46回沼田中学校卒業証書授与式が同校体育館で挙行されました。

卒業生15名は、ステージで長野校長から一人ひとり卒業証書を受け取ったあと、保護者、先生、クラスメイト、在校生、来場された方にメッセージを送り、15色の輝きを放っていました。

金平町長からは「友達や仲間を大切にしてください。」と祝辞が送られました。

会場では、成長した卒業生の晴れ姿を見て、涙を流す保護者や在校生もあり、感動で包まれていました。

3月18日（火）は沼田幼稚園卒園式が、同園で行われました。

卒園式には19名の園児が列席し、田中園長から園児一人ひとりに卒園証書が手渡されました。



田中園長は、園児が見せた「団結力や思いやりに感動しました」と式辞を述べ、横山PTA会長は、「園児に一番感心したのは、いつも元気だった事です。これから、どんなときも元気が必要です。」と祝辞を送っていました。

保護者は、カメラを片手に、それぞれに、成長した子どもの姿を撮影していました。



3月20日（木）、には沼田小学校卒業式が、同校体育館で行われました。

23名の卒業生は、藤森校長から手渡され卒業証書を手に、ステージ上から来賓、保護者、教職員、在校生、そしてクラスメイトを前に、保護者への感謝、将来の夢や中学校での目標を語っていました。

自信と意欲を持った子どもの姿を見て、目をうるませる保護者もあり、会場は感動で一体となりました。

身体障がい者相談員・知的障がい者相談員委嘱状交付



4月11日（金）、役場町長室において身体障がい者相談員・知的障がい者相談員と併せて北海道知事名で地域相談員に対する委嘱状の交付式が行われました。

相談員は、障がい者に対する虐待、差別等の不利益な扱いや地域で暮らす障がい者の暮らしやすさに関する相談に応じ、必要な助言を行うと共に関係機関に情報提供することなどを業務として、身体障がい者相談員に大堀信義さん、知的障がい者相談員に辻よし子さんがそれぞれ委嘱を受けました。

任期は平成26年4月1日から平成28年3月31日までの2年間となっています。

4/11

少年たちの自立更生のために 深川更生保護女性会「沼田すずらんの会」総会



4月11日（金）、沼田町健康福祉総合センター2階大会議室において、沼田すずらんの会の総会が行われました。

沼田すずらんの会は、就業支援センターに入所する少年たちの自立更生のために奉仕活動を行っており、今年も少年たちとのお食事会や季節の行事などの交流を行っていく予定となっています。

総会終了後には引き続き自主研修会が行われ、4月から新たに就業支援センターの統括保護観察官となった小笠原仁氏を講師に、ご自身の子育て経験を通じた少年との付き合い方などが話され、会員は真剣に聞き入っていました。

4/11

沼田町の元気のために 「ゆきものがかり」が総会を開催



4月11日（金）、観光情報プラザでゆきものがかり（山田昌希会長）の総会が開催されました。

ゆきものがかりは、昨年の設立総会で規約を設けて正式な団体として活動していくこととなり、今年は雪夏祭事業やハロウィンイベントの他、「街コン」や各種団体と連携した活動を行っていく予定です。

ゆきものがかりでは会員を募集していますので活動に興味のある方は事務局（商工会内）までご連絡ください。

4/12

未来のピカソ誕生? 沼田さんがデッサン教室



4月12日（土）町民会館の会議室で市内4の沼田祐輔さんがデッサン教室を開催しました。

当日は小学生から一般の方まで5名の方が参加し、沼田さんからデッサンの書き方や、参加者それぞれの特徴毎に指導をしていました。沼田さんは東北工科芸術大学を卒業し現在は美術作家として活躍され、5月10日（土）～31日（土）の期間も東京のCAFE ZENONで「モールスアイデンティティ SOS」と題した共同の作品展が開催されるなど精力的に活動されています。

交通安全を心掛けてね 役場主婦の会がマスコット寄贈

4月2日（水）、役場主婦の会（金平智子会長）が、春から沼田小学校に通う新一年生19名の交通安全を祈願して「カエルのマスコット」を手作りで作成し、校長室で金平会長から藤森正男校長に手渡されました。

このカエルのマスコットのプレゼントは、役場主婦の会が地域貢献活動の一環として長年行っているもので、金平会長は「子どもたちが無事に通学できるように願いを込めて作りました」とマスコットの入った箱を手渡すと、「いつもありがとうございます。子どもたちも喜んでくれると思います」と藤森校長はお礼を述べていました。

マスコットは、4月8日（火）の入学式の日に新一年生に手渡されました。



4/10

知らない人にはついて行かないで 沼田警察署が防犯啓蒙活動

新学期が始まり新たな生活で事故や事件に巻き込まれないために、4月8日～10日の3日間沼田警察署（木村茂典署長）でスクールバスの車内で防犯啓蒙のチラシを配り交通事故や、防犯について呼びかけました。

配られたチラシには「イカのおすし」と書かれ、「ついてイカない、知らない車にのらない・大声を出す」などの語呂合わせでチラシを見た子供たちは声に出して読むなど興味深く見ていました。



石狩沼田駅を綺麗に清掃 沼田長生クラブが清掃ボランティア

4月10日（木）、沼田長生クラブ（野道夫会長）がJR石狩沼田駅の清掃ボランティアを会員35名で行いました。

新学期が始まり通学や通院で深川などへの利用が増え始めていることから、例年と同様に同クラブが企画。会員らは、床に水を撒いてきれいにふき取り、ほうきなどで天井のほこりを丁寧に払うなどして駅舎の汚れを落としました。



野会長は「学生さんや病院などへの通院など多くの方が利用する場所、我々がやらないと駄目だと思い、清掃のお手伝いをしている」と話し、会員と一緒に清掃を行い汗を流していました。



このボランティア清掃に、JR深川駅の宮内進駅長も駆け付け「こんなにたくさんの方に掃除していただきたい」と感謝の気持ちを述べていました。

表彰

各種団体や町内企業の皆さんが各種方面での活躍に対して、表彰されましたのでお知らせいたします。

グローバルニッチトップ企業 100 選

日本パッケージ・システム（株）が表彰



経済産業省は、国際展開に優れ、我が国経済のけん引役となる企業を支援し、国際競争力の向上を確保していくことを任務として、この観点から、グローバル展開に優秀と認められる実績がある企業を「グローバルニッチトップ企業（= GNT 企業）」として顕彰するとともに、こうした企業の経験値を一般化し、GNT 企業を目指す企業に対する経営の羅針盤を示すことを目的として、今回初めて「グローバルニッチトップ企業 100 選」を選定しました。その中の 1 社に工業団地に進出している「日本パッケージシステム（株）」（真神孝男代表取締役）が選ばれ表彰されました。

がんばる企業表彰

丸ヨ吉住商店ががんばる企業表彰



北海道経済産業局（増山壽一局長）は、道内各地域で元気に輝いている中小企業や商店街を選ぶ「地域でがんばる中小企業・小規模事業者」「地域でがんばる商店街」顕彰制度を創設し、「ものづくり」や「サービス・小売」、「人材活用」、「地域活性化」など分野から選ばれた 12 社と 3 つの商店街が選ばされました。

沼田町からも「沼田町のブランド米、雪中米の台湾輸出に取り組んでいる「丸ヨ吉住商店」（吉住淳男代表取締役）が選ばれ 3 月 20 日に札幌で表彰されました。

全国水土里ネット表彰

沼田町土地改良区が大臣表彰



沼田町土地改良区（堀田輝幸理事長）が全国水土里ネット表彰で林農林水産大臣から表彰されました。

表彰理由として、組合員の意向に沿った整備計画を示して合意形成を図るなど、役職員・組合員が一丸となって基盤整備に積極的に取り組んだことや、担い手への農地集積率 97 % の達成や雪中米のブランド化、水稻の最高ランクの維持などが挙げられました。

3 月 28 日（金）には堀田理事長が金平町長に表彰の報告へ訪れました。



ドキドキ、ワクワクが待っている 新たな生活の幕開け入園・入学式

4/1・3・4・8・9

共成保育園・沼田保育園、幼稚園、小学校、中学校で新たな生活にワクワク、ドキドキした表情の新入生を迎える、入園・入学式が行われました。

